

(限内部)

海軍公報 (部内限) 第四千五百五十號

海軍大臣官房

昭和十八年十一月二十六日(金)

令 達

官房軍第一三二一號

舞鶴海軍艦船部ニ定員ヲ置カレザル間同部ニ關スル事
項ハ舞鶴鎮守府ニ於テ之ヲ處理スルモノトス

昭和十八年十一月二十五日

海軍大臣

〇 辭 令

宇都宮高等農林學校教授 森 本 勇

(各通) 東京農業教育専門學校教授 長 戸 一 雄

岐阜高等農林學校教授 松 山 三 樹 男

ニューギニア民政部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

京城帝國大學助手 田 中 正 四

ニューギニア民政部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏

任官待遇トス

栃内 巖

ニューギニア民政部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待
遇トス(以上^{昭和十八年十一月二十五日}海軍省)

春田丸一等機關士 藤 岡 重 信

囑託ヲ解ク(各通同)

通信書記 澤 登 武

海軍省事務ヲ囑託ス(各通同)

能 勢 博 史

海軍省事務ヲ解ク(各通同)

川 上 次 郎

海軍省事務ヲ囑託ス(各通同)

田 口 正 夫

海軍省事務ヲ囑託ス(各通同)

通 信 書 記 佐 野 晴 雄

第二十三特別根據地隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

松 尾 正 人

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス(各通同)

海軍公報(部内限) 第四千五百五十號 昭和十八年十一月二十六日

一八二

1670

海軍省兵備局ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(計二回同) 夫童有志雄

莫斯科へ出張ヲ命ス 軍令部囑託 村松 達男

海軍省南方政務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス 臺灣總督府技手 馬 目 尙

相模海軍工廠ニ於ケル教務ヲ囑託ス 杉崎 正義

但シ報酬年額千五百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス 深澤 理三郎

軍令部ニ於ケル調査事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上計四回同) 鈴木 玄

第六艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス 鈴木 玄

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(計二回同) 田中 十二郎

昭南海軍運輸部ニ於ケル事務ヲ囑託ス 但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(各通) 稻葉 時郎

南西方面海軍民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上計四回同) 林 仙一郎

軍令部ニ於ケル編纂事務ヲ囑託ス 白井健三郎

但シ報酬年額九百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(計一回同) 海江田 健行

横須賀海軍工廠工具養成所教務囑託ヲ解キ第百三海軍工作部ニ於ケル教務ヲ囑託ス(報酬如故)(計一回同) 海軍中將 樋口 修一郎

吳海軍工廠火災(十月二十八日)事件査問會委員長ヲ命ス 軍需技師 曾根 文二

(各通) 同 大木 恒

海南警備府附ヲ免ス(以上計一回同) 阿部 保信

第六十一海軍航空廠ニ於ケル海軍共濟組合醫療業務ヲ囑託ス 但シ報酬年額貳千五百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

トス

川棚海軍工廠工員養成所教務ヲ囑託ス
松尾 寅雄

但シ報酬年額八百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

特設海軍燃料廠ニ於ケル業務ヲ囑託ス
鮎 川 融

但シ報酬年額貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス
裏地 正生

特設海軍燃料廠ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
岩崎 武夫

詫間海軍航空隊齒科治療業務ヲ囑託ス
但シ報酬年額七百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(各通)
佐久間 昇
石橋 正樹
瀬戸 巖

相模海軍工廠化學實驗部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
前田 貢

軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

海軍省事務(軍務局配屬)ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
林 伯壽

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
野口 寛
宮路 憲二

海軍省兵備局ニ於ケル事務ヲ囑託ス
司法事務官 大澤 一郎

海軍省兵備局ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス
小池 藤五郎

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金貳拾參圓ヲ贈與ス
森山 康吉

海軍省事務囑託ヲ解ク
香月 源吾

海軍省事務囑託ヲ解ク(以上計五回同)

○ 雜 款

○司令驅逐艦復歸
第二十一驅逐隊司令八十一月十五日司令驅逐艦ヲ若葉ニ復歸セリ

海軍公報(部内限) 第四千五百五十號 昭和十八年十一月二十六日

二八三

○司令掃海艇變更
第一掃海隊司令ハ十一月二十日司令掃海艇ヲ第二十九號掃海艇ニ變更セリ

○司令驅潛艇變更
第二十三驅潛隊司令ハ十一月十日司令驅潛艇ヲ第二十二號驅潛艇ニ變更セリ

○事務開始
鹿兒島海軍燃料廠(假稱)建設委員事務所ハ十一月二日第三海軍燃料廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ
伊號第五三潜水艦艦裝員事務所ハ十一月十三日吳海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
呂號第四百十四潜水艦艦裝員事務所ハ十月二十日之ヲ撤去セリ
天草艦裝員事務所ハ十一月二十日之ヲ撤去セリ

海軍公報

(部内限) 第四千五百五十一號

昭和十八年十二月二十七日(土)

海軍大臣官房

○軍令

陸潛水艦基地隊令中ヲ改定シ之ガ施行ヲ命ズ

御名 御璽

昭和十八年十一月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

軍令海第十八號

潛水艦基地隊令中左ノ通改正ス

第五條第一項中「工作長」ヲ「内務長」ニ改メ「機關科」及「機關科工作科」ヲ削ル

第十三條 内務長ハ司令ノ命ヲ承ケ内務科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ内務、工作及潛水ニ關スルコトヲ擔任シ之ガ教育訓練ヲ掌リ主管ノ諸物件ヲ整備ス

第十六條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項ノ外兵科分隊長ハ其ノ屬スル所ニ從ヒ水雷長、機關長又ハ内務長、軍醫科分隊長ハ軍醫長、主計科

分隊長ハ主計長ノ命ヲ承ケ服務ス
第十七條中「水雷長」ノ下ニ「機關長、内務長」ヲ加フ

第十八條 削除

附則

本令ハ昭和十八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十六年三月二十日公布軍令海第五號潛水艦基地隊令抄錄

第五條第一項

潛水艦基地隊ニ左ノ職員ヲ置ク

(左記略ス)

第十三條 工作長ハ司令ノ命ヲ承ケ工作科員ヲ監督シ戰闘ニ當リ其ノ指揮ヲ執リ工作及潛水ニ關スルコトヲ擔任シ之ガ教育訓練ヲ掌リ主管ノ諸物件ヲ整備ス

第十六條第二項

前項ノ外機關科分隊長ハ機關長、工作科分隊長ハ工作長、軍醫科分隊長ハ軍醫長、主計科分隊長ハ

海軍公報(部内限) 第四千五百五十一號

昭和十八年十一月二十七日

一二八五

1674

主計長ノ命ヲ承ケ服務ス
 第十七條 隊附兵科士官、特務士官、准士官ハ司令ノ指定ニ依リ司令、副長、水雷長又ハ兵科分隊長ニ屬シ各其ノ命ヲ承ケ服務シ又諸配置ニ在リテハ各上官ノ指揮ヲ受ク
 第十八條 隊附機關科士官、特務士官、准士官及工作科特務士官、准士官ハ司令ノ指定ニ依リ機關長、工作長、機關科分隊長又ハ工作科分隊長ニ屬シ各其ノ命ヲ承ケ服務シ又諸配置ニ在リテハ各上官ノ指揮ヲ受ク

○通牒

官房人第二六九三號

昭和十八年十一月二十七日

海軍省 副官

關係各廳長殿

身上取扱ニ關スル通牒自然消滅ノ件通知

今般達第二百八十四號大東亞戰爭中戦歿者等身上取扱規則制定ニ伴ヒ左記通牒ハ自然消滅ノ義ト了知相成度

記

年月日	番	號	件名
昭和三、八、二六	海人機密第一號ノ二六		戦傷者ノ症狀通牒ニ關スル件
"	官房第四四二三號		事變關係飛行機搭乗者ノ死亡認定ニ關スル件
"	官房第五二二〇號		市町村長ニ對スル戦死者等ノ死亡報告ニ關スル件
"	官房第三一〇三號		軍人又ハ軍屬ノ死亡報告ニ關スル件
"	海人第二號ノ四一		戦歿者ノ海軍葬喪ニ關スル件
"	官房第五八〇號		戦死者等ノ定義ニ關スル件
"	海人第三六號ノ二		戦死者等ノ對スル死亡届書中死亡場所ノ記載方ニ關スル件
"	海人機密第一〇一號		徴備船舶船員死亡通知ニ關スル件
"	海人第一一號ノ四七		戦病ノ取扱ニ關スル件
"	海人第二號ノ二一〇		半島人タル軍屬戦歿者ノ海軍葬喪管理由ニ關スル件
"	海人第一一號ノ二四六		戦歿者遺品送付ニ關スル件

(各通)

同 富田 東助

同 河合 榮

同 湯淺 達三

同 阿部 雅之介

同 一瀬 春駒

同 海軍軍醫少佐 足立 恒二

同 土信田 武男

同 中森 義郎

同 塩入 綾夫

同 海軍軍醫大尉 海輪 博太郎

同 横堀 榮

同 佐々 學

同 海軍藥劑少佐 中野 勇

昭和十八年十一月施行海軍軍醫、藥劑學生採用試験
臨時委員ヲ命ス(計五同)

遞信技師 森田 茂男

遞信局技手 村山 清二郎

同 五井 三雄

線路工員 天野 誠一

同 田村 生七

同 師岡 治郎

(各通)

同 高崎 時三郎

同 八性 正雄

同 矢地 代治

同 渡邊 照次

同 機械工員 齋藤 兆且

同 吉田 國作

横須賀鎮守府附ヲ免シ第八艦隊司令部附ヲ命ス
(計五同)

海軍軍醫中佐 門倉 桃太郎

海軍生徒採用試験常置委員ヲ命ス

同 鈴木 慶一郎

海軍豫備學生採用身體検査委員ヲ命ス

海軍豫備練習生採用身體検査委員ヲ命ス(以上計五同)

同

宮下 幸作

石倉 喜作

同 鍵本 榮治

(各通)

軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル(計五軍令部)

○ 雜 款

海軍公報(部内限) 第四千五百五十一號 昭和十八年十一月二十七日

一三八九

海軍公報(部内限) 第四千五百五十一號 昭和十八年十一月二十七日

一二九〇

○正誤

十一月一日附公報(部内限) 號外郵便物發送先八二頁
二行目「イ九六」ハ「セ九六」ノ誤

1677

様式

第 號

航空關係貨物證明書

(託送者住所氏名)

(昭和十八年十一月二十七日海軍公報(部内限))

納 入 先	輸送區間				輸送期間		輸送物		摘 要
	發 驛	著 驛	發 送 日	到 著 日	種 類	箇 數	容 積		

右ハ航空關係貨物タルコトヲ證明ス

年 月 日

(發行責任者 職官氏名)

印

調製上ノ注意

一、本證明書ハ航空關係貨物タルコトヲ證明スル爲關係各廳長、部隊長又ハ監督官ニ於テ發行スルモノトス

二、輸送上特別ノ希望事項ハ摘要欄ニ記載スルモノトス

“ 八七三海人第一五三號	戰死者等ノ戸籍手續ニ關スル件通牒
“ 八七三海人第一五四號	戰地死亡者ノ戸籍手續ニ關スル件通牒

兵備四第二〇六號

昭和十八年十一月二十六日

海軍省兵備局長

關係廳長殿

雇員傭人在職年數及勤続年數ニ關スル件
申進

雇員傭人規則第十九條並ニ昭和十八年官房備機密第一九二號第一號及同第二號ノ規定ニ依ル首題ノ件ニ關シ左記ノ通取扱フコトニ定メラレ候條了知相成度

記

雇員又ハ傭人採用前左ノ職ニ在リタル者ニシテ現ニ從事スル職種ト同様ノ職種ニ從事シアリシモノニ付テハ其ノ在職年數ヲ通算スルコトヲ得

- 一 海軍工員又ハ傭員
- 二 看護婦(免許狀所有者ニ限ル)
- 三 海軍共濟組合勤務員
- 四 官公署雇員傭人

海軍公報(部内限)第四千五百五十一號

昭和十八年十一月二十七日

一一二八七

軍本機密第六〇一號

昭和十八年十一月十二日

海軍運輸本部長

關係各廳長殿

航空關係荷物輸送ニ關スル件通牒

航空關係荷物ノ特別輸送取扱方ニ關シ別紙ノ通鐵道局長ニ通牒セル趣鐵道總局業務局長ヨリ通知有之候ニ就テハ關係方面ニ徹底セシメ之ガ適正利用方取計相成度追テ左記事項ハ特ニ留意セシメラレ度

- 一 最近ノ輸送狀勢ニ於テハ差當リ本輸送ニ付一部支障ヲ來ス虞ナシトセザルヲ以テ數量ノ大ナルモノハ豫メ鐵道側ニ打合ヲ爲ス等努メテ輸送ノ計畫化ヲ圖ルコト
- 二 證明書ノ發行ヲ嚴正ニスルト共ニ他ノ一般軍用品ハ特ニ急送ヲ要スルモノニ限リ小荷物扱トスルコト
- 三 本件輸送荷物ニハ(航)ノ標識ヲ附セシメルコト

(別紙)

各鐵道局長殿

鐵道總局業務局長

航空機生産ノ緊要性ニ鑑ミ航空關係荷物輸送ニ關シテ

ハ左記各號ニ依ル取扱方取計相成度

記

- 一 航空關係手荷物及貨物(小荷物扱、小口扱)ニ對シテハ(航)ノ標識ヲ附スルコト、ナリ居ルニ付其ノ輸送ノ迅速適確ヲ期スルコト
- 二 特ニ急速輸送ヲ要スルモノニ就テハ陸海軍ノ部長、各廳長又ハ關係監督官ノ發行セル別記様式證明書ヲ提出又ハ携行スベキニ付左ニ依リ取扱フコト
- (イ) 軍用品ニ準ジ小荷物扱トシテ特認ノ方法ヲ講ズルコト
- (ロ) 小荷物扱ニ依ルトキハ破損ノ虞アル爲携行スル計器、硝子製品等ノ易損品及緊急ノ必要ニ依リ携行スル物品ノ車内持込ニ關シテハ所定ノ制限ヲ緩和スルコト
- 三 地方鐵道及軌道ニ對シテモ前各號ト同様ノ措置ヲ講ゼシムルコト

(様式添)

○ 辭令

渡邊 伊三郎

徵用中年額貳千五百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

ス(海軍省)

佐藤 武夫

徵用中年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(海軍省)

泉 直一

徵用中年額參千四百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(海軍省)

山下 正治郎

徵用中年額貳千拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(海軍省)

倉科 和夫

徵用中年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限判任官待遇トス

(海軍省)

海軍大佐 角田 貞雄

海軍中佐 渡邊 安次

同 小手川 邦彦

同 猪口 力平

同 赤堀 次郎

海軍少佐 小泉 義雄

海軍醫大佐 横倉 誠次郎

海軍軍醫中佐 田代 恭助

(別紙)
書式第一

昭和 年 月 日

(昭和十八年十一月二十四日海軍公報(部内限))

航空技術廠通常物品會計官吏股

購買物品調書

、特設航空廠通常物品取扱主任

官 氏

名 印

品名	稱呼	數量	單價	代價	價	檢收年月日	納入者

- 備考
- 一 機械、器具、消耗器具及材料ハ各別紙ニ調製スルコト
 - 二 本調書ニハ特設航空廠長(支廠長)ノ檢印ヲ受クルコト

1681

(別紙)

書式第二

(昭和十八年十一月二十四日海軍公報(部内限))

受 託 工 事 調 書

(昭和 年度第 號)

施 行 廳 名

委託者名	工事名	工 事 費				機 械 使用料	評 價 格	納入告知 書送付先	記 事
		工 費	材料費	外 費	計				

備 考

1. 工作廳ニ於ケル支拂額ト特設廳支拂額トヲ各別ニ計上スルモノトス
2. 委託者名ハ陸軍〇〇、〇〇會社等ト記載スルモノトス
3. 外費ハ運賃、人夫賃、工員旅費其ノ他工費及材料費ニ屬セザル諸費ヲ計上スルモノトス
4. 機械使用料及評價格ハ戰時海軍工作廳工事費規則第四十八條乃至第五十條ノ規定ニ準ジ計上スルモノトス
5. 納入告知書送付先ハ當該費用ハ納入者ニ直接納入告知書ヲ送付シ得ル如ク其ノ住所氏名(職名)ヲ詳細記載スルモノトス
6. 番號ハ年度毎ニ一貫番號トシ當該年度最終番號ニハ「何年度終」ヲ記載スルモノトス

同 木村隆一郎	同 收 瑛	同 伴 次郎	同 中村 寛	同 奥名 清信	同 大野 功	同 太田増右工門	同 石井 三郎	同 松田 源次郎	同 角田 貞雄	同 古田中 博	同 岡村 政夫	同 堀内 茂忠	同 矢 收 章	同 伴 義 一	同 山本 善雄	同 杉浦 矩郎	同 大石 保	同 濱田 祐生
地方事情査察委員會委員ヲ命ス																		
(各通)																		
同 今田 乾吉 地方事情査察委員會幹事ヲ命ス(以上準同)	○ 雜 款																	
○司令潜水艦變更 第十五潜水隊司令ハ九月十四日司令潜水艦ヲ伊號第三十八潜水艦ニ變更セリ	○定期航空便中止ノ件通知 本年六月二十八日横鎖機密第一三號ノ九〇ニ依ル横濱幌筵間定期航空便ハ十月三日横濱發便ヲ以テ自今當分ノ間實施セラレズ (第八〇一海軍航空隊)																	
○當隊八月五日附解隊第五十一警備隊ニ編入ノ處殘務整理ハ當分ノ間從來通現任所ニ於テ處理致ベク書類發送先ニ關シ可然取計ヲ得度 (第二十六防空隊)	○事務開始 第二十一衛所隊ハ九月一日佐世保防備隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ 第二十二衛所隊ハ九月五日佐世保防備隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ																	

新竹海軍航空隊高雄分遣隊設立準備委員事務所ハ九月九日高雄海軍航空隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

第二四一設營隊ハ九月二十三日海軍施設補給部ニ於テ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
伊號第百八十五潜水艦艇裝具事務所ハ九月二十三日之ヲ撤去セリ

海軍公報 (部内限) 第四千五百五十二號

昭和十八年十一月二十九日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房經機密第八七八號
昭和十四年官房第七三九號中左ノ通改正ス
昭和十八年十一月二十七日

別表中「東京府」ヲ「東京都」ニ、海軍大臣

佐官 奏任文官 五等以上	尉官 特務士官 奏任文官 六等以下	准士官 一 判任文官 等	下士官 二 判任文官 以下	兵長 兵員
佐官 奏任文官 五等以上	尉官 特務士官 奏任文官 六等以下	准士官 一 判任文官 等	下士官 二 判任文官 以下	兵長 兵員
奏任文官 五等以上	特務士官 奏任文官 六等以下	判任文官 一 等	判任文官 二 以下	兵長 兵員
奏任文官 五等以上	特務士官 奏任文官 六等以下	判任文官 一 等	判任文官 二 以下	兵長 兵員
奏任文官 五等以上	特務士官 奏任文官 六等以下	判任文官 一 等	判任文官 二 以下	兵長 兵員
奏任文官 五等以上	特務士官 奏任文官 六等以下	判任文官 一 等	判任文官 二 以下	兵長 兵員
奏任文官 五等以上	特務士官 奏任文官 六等以下	判任文官 一 等	判任文官 二 以下	兵長 兵員
奏任文官 五等以上	特務士官 奏任文官 六等以下	判任文官 一 等	判任文官 二 以下	兵長 兵員
奏任文官 五等以上	特務士官 奏任文官 六等以下	判任文官 一 等	判任文官 二 以下	兵長 兵員
奏任文官 五等以上	特務士官 奏任文官 六等以下	判任文官 一 等	判任文官 二 以下	兵長 兵員

海軍公報 (部内限) 第四千五百五十二號

昭和十八年十一月二十九日

二二九

改ム

附 則

本規定ハ昭和十八年八月一日ヨリ之ヲ適用ス

(参照) 海軍機密會計法規類集七七頁

官房經機密第四九三號ノ二

昭和十八年官房經機密第四九三號中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月二十八日

海軍大臣

別表ヲ別表ノ如ク改ム

(別表添)

(参照) 昭和十八年八月十日海軍公報 (部内限)

○辭 令

海軍主計大尉 瀧田 信義

第四海軍經理部バラオ支部ニ要スル給與及其ノ他ノ

經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 谷口 博一
右同分任出納官吏ヲ免ス(計部)支出官 海軍省經理
局長)

同 高本 英望
第二二三設營隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ
爲繼隊經費分任出納官吏ヲ命ス(計部同)

○ 雜 款

海軍中尉從七位池永 靖十一月十三日飛行作業中
遭難殉職、同十五日霞ヶ浦海軍航空隊ニ於テ佛式
ニ依リ海軍葬儀執行セリ

(別表)

(昭和十八年十一月二十九日海軍公報(部内限))

備考	備	日		旅費等級
		額	額	
一 高等文官三等ニハ日額甲六、〇〇同乙九、〇〇ヲ支給ス 二 官ノ施設ニ起臥セシムルトキハ日額甲、官ノ施設ニ起臥セシメザルトキハ日額乙ヲ支給ス	乙	一	七五〇	二 等
		二	七五〇	三 等
	甲	一	六〇〇	四 等
		二	五〇〇	五 等
	乙	一	五三〇	六 等
		二	四五〇	七 等
	甲	一	三〇〇	八 等
		二	二五〇	九 等
	乙	一	二三〇	
		二	一八〇	

海軍公報

(部内限) 第四千五百五十三號

海軍大臣官房

昭和十八年十一月三十日(火)

○通牒

官房教第一〇六號ノ三

昭和十八年十一月二十九日

海軍省副官

各廳長殿

身元調査ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答セ
テ候條了知相成度

憲一警第一五七號

昭和十八年十月二十六日

憲兵司令部本部長

海軍次官殿

海軍將校生徒志願者身元調査ニ關スル件

照會

身元調査ニ關シテハ昭和十三年十二月二十七日憲警第
三五二號ヲ以テ貴意ヲ得タル處其後時局ノ要請モアリ

海軍公報(部内限) 第四千五百五十三號 昭和十八年十一月三十日

二二九三

1688

體檢査終了後ノ調査期間ヲ最少限ニケ月豫定スルコト

二 調査ハ志願者ノ現住所ノミトシ本籍地調査ハ特殊ノモノニ限ルコト

三 調査項目ハ採否決定前特ニ係官ノ知ラント欲スル事項ノミニ局限スルコト

(乙號)

官房教第一〇六號ノ二

昭和十八年十一月二十日

海軍 次官

憲兵司令部本部長殿

海軍將校生徒志願者身元調査ニ關スル件

同答

憲二警第一五七號照會首題ノ件異存無之

軍務一機密第九二九號

昭和十八年十一月二十九日

海軍省軍務局長

各 鎮 守 府

海軍練習聯合航空總隊 參謀長殿

航空隊附タル士官ノ配員ニ關スル件申進

來ル十二月一日ヨリ航空隊令改正施行ニ伴ヒ後來ノ整備長ヲ廢止セラレ相當官等ノ者ヲ隊附トシテ新ニ配員セララル豫定ノ處右隊附中ニハ飛行機整備能力強化ノ爲一部飛行長ヨリ先任者ヲ配員セララルニ付右ノ場合ニハ之ヲ航空隊編制令第八條第二號ノ飛行科附(整備主任)トセズ司令ノ命ヲ承ケ飛行機整備ニ關シ飛行長ニ協力シ飛行機整備部指揮官ノ指導ニ任ズル外必要ニ應ジ内務長修補長ヲ援助セシメララル様配員上可然取計相成度

運本機密第五三〇號

昭和十八年十一月二十九日

海軍 航空 本部長

海軍 運輸 本部長

關係各廳長殿

兵器車ニ依ル軍用品輸送ニ關スル件通牒

襲ニ第二、第十一、第二十一航空廠ニ配置セラレタル兵器車ニ依リ同廳及關係廳ニ於テ軍用品ヲ發送セント

スル場合ハ同車ノ特殊性ニ鑑ミ取扱方ニ關シ運輸通信省ト左記ノ通協議致候條了知相成度

記

一 配置驟

配置廳		配置貨車番號		輻數		常備驛	
第二海軍航空廠	七〇八	七〇〇	七〇一	五	田浦	八一六	平塚
	七〇〇	七〇一	七〇一	八	逗子		
	七二〇	七二五	七二五	一	吳		
第十一海軍航空廠	七〇九	七〇二	七〇七	六	大分	同	大分
第二十一海軍航空廠	七二一	七二五	七二五	五	竹松	七二六	日宇
	七二六	七二九	七二九	四	日宇		

二 構造並取扱方

關係ノ向ニノミ別途送附濟

三 託送手續

本車ニ貨物搭載ノ場合ト空車ニテ廻送ノ場合トヲ問ハズ鐵道軍用輸送券ヲ發驛驛長ニ提出シ發送ノ手續ヲ爲スコト、但シ輸送日時ノ確保ヲ要スル場合ハ最寄海軍運輸部又ハ海軍運輸本部ニ申出ツルコト

四 搭載貨物並ニ重量ニ對スル制限

海軍公報(部内限)第四千五百五十三號

昭和十八年十一月三十日

一一一九五

鐵道局別	縣別	鐵道別	發着驛名及制限事項
札幌鐵道局管内	北海道	省線	根室、美幌、廣尾、千歲
仙臺鐵道局管内	青森省	線	大湊、古間木
同	宮城	同	大河原
同	宮城電鐵	同	矢本(石卷經由ノ場合ニ限ル)

五 發着取扱驛

左ノ通トス但シ本取扱驛以外ニ向ケ又ハ以外ノ驛ヨリ發送セントスル場合ハ豫メ發驛驛長ニ申出デ承諾ヲ得ルコト

ハ、「イ」及「ロ」ヲ混載スル場合

「イ」ニ同ジ

搭載貨物 重量制限

イ、火藥又ハ爆彈類 貨車標記荷重噸數ノ三分ノ二(二十三噸三分)以下タルコト

ロ、一般兵器類搭載ノ場合 積載重量二十五噸以下タルコト但シ二十六噸ヲ超ユ積載セントスル場合ハ豫メ發驛驛長ニ申出デ承諾ヲ得ルコト

		大阪鐵道局管内				名古屋鐵道局管内				東京鐵道局管内			
山口	廣島	鳥取	同	京都	滋賀	石川	同	愛知	静岡	同	神奈川	千葉	茨城
同	同	同	同	省線	江若鐵道	省線	鐵道	同	省線	相模鐵道	同	同	省線
岩國	廣、吳	米子、境港	東舞鶴、中舞鶴(以上専用線着ノ場合ハ取扱ハズ)	松尾寺、栗田	日吉	小松	舉母	豊橋、安城、武豊	堀ノ内	瀬谷、相模大塚	田浦、横須賀	千濁、茂原、五井、木更津、安房北條	友部、土浦、荒川沖

		四運賃				廣島鐵道局管内			
大分	鹿兒島	長崎	同	福岡	高知	徳島	愛媛	香川	同
同	同	省線	鐵道	同	同	同	同	同	同
佐伯	柳ヶ浦、宇佐、大分、屋出水、西鹿兒島、鹿	大村	西戶崎	筑城	高知	徳島、小松島	松山	詫間	

○ 辭令

貨物搭載ノ場合 貨車標記荷重總數(三十五噸)ニ對シ所定ノ軍用貨物運賃ヲ適用ス
 空車廻送ノ場合 貨車自重ノ二分ノ一重量ニ對シ所定ノ軍用貨物運賃ヲ適用ス

齋藤 寛治

徵用中自今年額貳千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(現出海軍省)

通信書記 草間 貞雄

第三海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計六名同)

遞信局書記 三井 秋登

第三十九海軍軍用郵便所員ヲ命ス(計六名同)

事務員 水谷 義天

(各通)

同 足立 益廣

第五海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計九名同)

同 近藤 九一

第八海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計四名同)

同 鷺見 良三

購買名簿調査委員會委員ヲ命ス

海軍技術大尉 山崎 達郎

購買名簿調査委員會委員ヲ免ス(以上計五名同)

海軍技師 西原 貢

第四課勤務ヲ命ス

海軍中佐 石本 恒人

第二課勤務ヲ命ス(以上計四名海軍省兵備局)

同 橋 秀雄

海軍中佐 末國 正雄

第一課勤務ヲ命ス(計七名海軍省人事局)

海軍主計中尉 稻富 廣

第四海軍施設部大島島派遣員ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

同 久保 修哉

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上計三名支出官 海軍省 經理局長)

海軍主計大尉 向井 篤一

第二百二海軍經理部バリックパン支部ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス

海軍主計中尉 鈴木 龍太郎

右同分任出納官吏ヲ免ス(以上計二名同)

○ 雜 款

○事務開始

第二臺南海軍航空隊(假稱)設立準備員事務所ハ十月

十一日臺南海軍航空隊内ニ於テ事務ヲ開始セリ

追テ設立準備員ハ同隊山田部隊ニ入隊セシメラレ度

呂號第十七潛水艦艦裝具事務所ハ十一月二十二日川

海軍公報(部内限) 第四千五百五十三號

昭和十八年十一月三十日

二二九七

海軍公報(部内限) 第四千五百五十三號

昭和十八年十一月三十日

一二九八

崎神戸造船所内ニ事務ヲ開始セリ

○事務所撤去
波勝艦裝具事務所ハ十一月十八日之ヲ撤去セリ

○本日普通公報發行セズ

海軍公報

(部内限) 第四千五百四十九號

海軍大臣官房

昭和十八年十一月二十五日(木)

○通牒

軍務一機密第九二二號

昭和十八年十一月二十四日

海軍省軍務局長

各鎮守府
各警備府
各艦隊 參謀長殿

拿捕船舶及載貨ニ付檢定確定シタル時ハ捕獲審檢所ヨリ

拿捕物件保管廳宛檢定執行委囑可有之ニ付官報公告

依リ其ノ檢定確定ヲ知リタル場合ニハ之ニ依リ直ニ檢定ノ執行差支ナキコトニ定メラレ候

兵備三機密第三九二號

昭和十八年十一月二十四日

海軍省兵備局長

各鎮守府、各警備府參謀長殿

徵備豫定船ノ選定ニ關スル件照會

首題ノ件海軍省徵備ノモノニ付テハ候補船ノ性能上止ムヲ得ザルモノアル場合ノ外ハ同一船主ヨリ多數ヲ徵備スル等ノコトナキ様其都度一應船主側事情ヲ考慮ノ上實施シツツアル處地方徵備ニ於テモ右含ミノ上成ル可ク地元ノ實情ヲ調査シ或ハ公共機關ヲ經由スル等然ルベク配慮ノ上實施相成度

兵備三機密第三九二號

昭和十八年十一月二十四日

海軍省兵備局長

各鎮守府、警備府參謀長
海軍監督長
內國各地海軍首席監督官 殿

機帆船ノ國家使用ニ關スル件照會

首題ノ件統制アル計畫ノ下ニ重要物資ノ輸送ヲ確保スル爲海軍トシテモ重視シ居ル次第ニ付別紙往復文書參照ノ上海軍關係工場ノ使用船ニシテ從來徵用免除ノ申請アルモノニ對シテモ此際眞ニ己ムヲ得ザルモノノ外

海軍公報(部内限) 第四千五百四十九號

昭和十八年十一月二十五日

一二七五

ハ徵用ニ應ゼシムル様國家的見地ヨリ充分配慮相成度

別紙A

兵備三機密第一八號ノ一〇ノ六二

昭和十八年十月二十八日

海軍省兵備局長

海務院長官殿

機帆船徵用ニ關スル件照會

小型機帆船ノ徵用ニ關シ別紙陳情アリタル處此種特殊事情アル機帆船ニ對シテハ成ルベク徵用取止ノコトトセラレ度已ムヲ得ズ徵用ノ場合ニアリテモ重要輸送中絶ノ結果海軍關係工事ヲ遅延セシメ又ハ軍需工場ノ作業ヲ停止セシムルガ如キコトトナラザル様運航實務引繼上然ルベク御配慮相成度

(別紙略)

別紙B

海運二第一二七四號

昭和十八年十月三十日

海務院運航部長

海軍省兵備局長殿

五十總屯以上機帆船ノ國家使用ニ關スル件

右ニ關シ當該機帆船國家ニ於テ使用スルコト相成リタル處該船舶中ニハ軍專屬船舶トシテ軍需物資輸送ニ從事シ居ル船舶多數有之モ之等船舶ノ運用ニ付テハ國家使用船トナリタル后モ差當リ從來通ノ就航航路ニ於テ從來通リノ積荷ヲ輸送スベク配船ヲ考慮致スコトト相成居ルニ付了知ノ上現地軍ニ對シ協力方配意相煩度

○ 辭 令

君嶋 晃義

囑託(軍屬船員)ヲ命シ部内限委任官待遇トス(三十五)

海軍省)

貳千參百圓

足立 三男

貳千五百拾圓

磯野 博

(各通) 貳千拾圓

長谷川 寛一

千六百五拾圓

小泉 嘉四郎

徵用中年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限委任官待遇トス(九十四同)

同)

重田 重才

囑託(軍屬船員)ヲ命シ部内限委任官待遇トス(九十四同)

第八艦隊司令部附ヲ命ス(計二同)

氣象技手 河瀬 治三

氣象技師 大谷 東平

同 上井 兼文

同 加藤 茂數

同 峯岸 正太郎

同 橋場 善也

氣象技手 永田 正明

同 高澤 孝夫

同 田畑 七郎

同 長田 喜正

同 根本 勇

同 小森 綠

同 出口 開作

同 河合 淳

水路部附兼海軍氣象部附第四氣象隊附第八氣象隊附ヲ命ス

通信書記 皆吉 豊吉

遞信局技手 小野 有二

同 小山 稔

機械工員 飛田 英雄

(各通)

同 屋良 朝孝

東京海軍通信隊附ヲ免ス(以上計同)

遞信局書記補 清水 初男

第十海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 内山 一郎

第十海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

(各通) 遞信局書記 稻垣 壽人

同 通信書記補 鈴木 行雄

第十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 岩崎 秀哉

同 宮本 盛

同 大西 榮市

同 集配員 定形 敏雄

第十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

(各通) 通信書記 柳澤 輝義

同 通信書記補 松下 日出男

第三十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス

事務員 倉林 富美雄

第三十二海軍軍用郵便所員ヲ命ス

海軍公報(部内限) 第四千五百四十九號 昭和十八年十一月二十五日

一三七七

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

通信書記 橋本 要

第四十三海軍軍用郵便所員ヲ命ス

通信院屬 増島 辰夫

同 小倉 秋

同 高野保次郎

同 竹内 久

通信書記 大石 彌助

同 柳田 益夫

同 鈴木 保次

同 若林丈四郎

通信書記補 神沼新一郎

同 猪野 元吉

第三十六海軍軍用郵便所員ヲ命ス(以上諸部同)

海軍少將 木下 三雄

鐵藥莖生産對策委員會委員長ヲ命ス

海軍大佐 磯 惠(艦本)

同 松尾 實(同)

同 稻田 良人(同)

海軍中佐 三井 再男(同)

海軍少佐 阿部 友一(吳廠)

(各通)

海軍主計大佐 川島 經裕(艦本)

同 深町 壯男(兵備)

海軍主計中佐 中村 守男(艦本)

海軍技術大佐 佐々川 清(同)

同 武林 誠一(吳廠)

同 杉岡 師男(艦本)

海軍技術中佐 横山 常市(横廠)

同 伊達 勝一(艦本)

同 矢島 新作(同)

同 大平 一郎(同)

同 依 信次(同)

海軍技術少佐 中前 和夫(吳廠)

同 河野 盛三(同)

同 小出 宗夫(艦本)

同 高木 章二(空技支)

海軍技術大尉 山柳 滋郎(吳廠)

同 川崎 正美(同)

同 別 役 要(豐廠)

同 小野田 雄次(艦本)

海軍技師 松倉 武雄(吳廠)

同 堀田 秀次(同)

同 立川 隆(航本)
 同 西川 政一(同)
 同 小林 潔(吳廠)
 同 小山 武夫(技研)
 鐵藥莖生毒對策委員會委員ヲ命ス(以上註明海軍艦政本部)

○ 雜 款

○ 正 誤
 十月二十六日附公報(部内限)一、五一頁上段中「五升小太郎」ハ「五斗小太郎」ノ、十一月十一日附公報(部内限)一、二、四頁上段中「海軍書記補」ハ「通信書記補」ノ孰モ誤
 十一月八日附公報(部内限)一、一九六頁上段十一行目佐世保海軍施設部ニ配屬スノ次ニ(以上註明海軍省)ヲ、十一月十五日附公報(部内限)一、二、二九頁上段十四行目佐世保鎮守府附ヲ免シ海南警備府附ヲ命スノ次ニ(以上註明海軍省)ヲ孰モ加フ

海軍公報(部内限)第四千五百四十九號 昭和十八年十一月二十五日

一二七九